



学校だより

～創立136周年

読書の秋 収穫の秋

さいたま市立植水小学校
校長 保坂 泰司

地域・保護者の皆様、日頃より本校の教育活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。さて、最近ではあれほど暑かった日々もなくなり、涼しく過ごしやすい日々が続くようになりました(ひと安心です)。季節は「秋」に向かっていることを実感します。この時期になると毎年言われるのが「〇〇の秋」です。「読書」「スポーツ」「芸術」「食欲」などがよく見聞きされます。皆さんはどのような「〇〇の秋」にするのでしょうか。子どもたちには、どんなことでも構いません、この時期だからこそできることに没頭し、「〇〇の秋」を楽しんでほしいと思います。

本校では10月1日～31日の期間、「自ら本に手を伸ばす植水っ子の育成」のための一環として「植水小 読書月間」を開催します。図書委員会の子どもたちが中心となって、下に示す様々な取組を行います。大いに盛り上がること間違いなしです。ぜひ、ご家庭でも「植水小読書月間」を話題にさせていただき、一緒に盛り上げていただけたらと存じます。僭越ながら、私が考える「読書のよさ」について述べさせていただきます。①その本の中に入り込み、現実・非現実な世界を登場人物と一緒に楽しむことができる。②様々な登場人物の気持ちに触れることで、他者の気持ちへの理解が深まる。③「語彙」が身につくことで、読解力や思考力が高まる。①②③の結果、「国語力」が伸びると確信します。大人になってから読書から離れていくことがないように、この機会に読書の楽しさを十分味わってほしいと思います。私も、「読書」がんばります。

先月の27日に、5年生が苗を植えた「植水田んぼ(うえたん)」の稲刈りを行いました。春に植えた苗が立派に成長しており、子どもたちはびっくりしていました。稲刈りをしながら子どもたちから、「楽し～い」「もっと刈りた～い」などの声が多く聞かれました。このような貴重な経験をさせていただいたのも、今までご指導及び日々の田んぼの管理をしてくださった上村様はじめ農協・地域の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【植水小「読書月間」】

- ①「植水小ミニビブリオバトル」→子どもたちが自分がみんなに読んでほしいと思う本を紹介します。紹介された本の中から、投票により、どの本をみんなが1番読みたいかを決める催しです。
- ②「コラボ給食」→本の中に出てくる料理を給食で子どもたちに提供します。
- ③「おすすめ本の紹介」→職員がおすすめする本を紹介します。
- ④「どんどん増やそうハロウィンリース」→本を1冊借りるとスタンプが1つもらえます。スタンプの数に応じて、リース台や飾りがもらえます。
- ⑤「分類トリックオアトリート(10月22日～31日)」→期間中に「本日の分類」の本を借り、「トリックオアトリート」と言うと、素敵なしおりがもらえます。



最後に、9月末に発生した「能登豪雨」で被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。